

科目名 Course Name	スポーツボランティア演習Ⅱ Sports Volunteer Exercise II			ナンバリング No.	G2-005		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	板倉 茂樹						
連絡方法	本館2階研究室か、C-Learningで対応。オフィスアワーは月曜日以外の授業担当時間以外で。						
必修/選択	選択						
関連DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	<p>スポーツボランティア演習Ⅰでの経験を踏まえ、さらにスポーツをする人、みる人、させる人などに関わるボランティア活動の大切さを知り、スポーツを取りまく環境を知るとともに何ができるか考えて、自らボランティア実践できる態度を育成し、将来の職業選択に活かしていけるようにする。</p> <p>①スポーツボランティア活動の意味を他者に説明することができるようにする。                  ②スポーツボランティア活動の機能による分類の利点を他者に説明することができるようにする。                  ③スポーツボランティア活動内容を振り返り意義や役割を他者に説明することができるようにする。                  ⑤スポーツボランティアに関わる課題の解決案を考えることができるようにする。</p>						
授業の方法	パワーポイント、ディスカッション、授業用配布資料による講義 協力スポーツ団体での演習						
学習成果	L01						
	L02	スポーツボランティア活動の意味を認識して実践できる。 スポーツイベントの企画・運営をしていくための手がかりを得ることができる。 スポーツボランティアに関わる課題の解決案を作ることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	各自の課題についてはC-Learningのやり取りでフィードバックしていく。						
教科書/参考図書	必要資料は配布するので、特定の使用テキストはない						
履修上の留意点やルール等	ボランティア精神のもと積極的に参加し、マナーを守り、自分で考え行動すること。課題を必ず提出すること。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分である。						
担当教員の実務経験	職種: 中学校野球部監督、高等学校硬式野球部アドバイザー、指導主事、校長 職歴: 通算36年						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること。主体的な行動ができること。		40				
レポート/作品	20点満点の3つの実践レポートを提出すること。満点=各設問に適切に答えているか、自由記述は8割以上記入されているか。提出期限が守られているか。締め切りを過ぎたら減点する。		60				
発表							
小テスト							
試験							
その他							
合計				100			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・スポーツボランティアの意義
	事前・事後学習	授業の進め方、成績評価方法、講義受講にあたっての注意点をシラバスで確認する
2	授業内容	スポーツボランティアの種類と実習の進め方
	事前・事後学習	参加方法や活動にあたっての留意点をプリントに従ってまとめをする
3~6	授業内容	スポーツボランティア① 9:00~1600 県内外のプロスポーツ団体、各種スポーツ協会等のイベントや試合等に参加 競技施設の測量検査に参加
	事前・事後学習	課題レポートのまとめ
7~10	授業内容	スポーツボランティア② 9:00~1600 県内外のプロスポーツ団体、各種スポーツ協会等のイベントや試合等に参加 競技施設の測量検査に参加
	事前・事後学習	課題レポートのまとめ
11~14	授業内容	スポーツボランティア③ 9:00~1600 県内外のプロスポーツ団体、各種スポーツ協会等のイベントや試合等に参加 競技施設の測量検査に参加
	事前・事後学習	課題レポートのまとめ
15	授業内容	事後指導
	事前・事後学習	演習を通して今後の進路選択にどのように役立てていくかをまとめる